

R-18

成人向け
おねショタ本

新田美波の

にったみなみのしよたくい

ショタ喰い



あらすじ

連ドラでメインヒロインである女子高生役に抜擢された新田美波。その弟役には、同じ事務所に所属する翔くんが選ばれる。

地方ロケが順調に進んでいたある日、スロデューサーは急用で数日間ロケに立ち会えなくなってしまう。

翔くんの家族も立ち会えず、翔くんをひとりでホテルに泊めるわけにもいかず、スロデューサーは美波に翔くんの面倒を見るように依頼する。

美波をそれを快諾し、その日のロケが全て終わったあと…

翔くん、一緒に
お風呂入ろっか

「今日も暑くて撮影でいっぱい汗かいたでしょ？
きれいに洗ってあげるからいらっしやい」
(プロデューサーさんに任されたんだからしっかり面倒見なきゃ...)

ピル!

ほら聊すかしがらないで
こっちにいらっしやい

ほ、僕ひとりで
入れますから...

女の人の裸
初めて見た...

ピル
ピル

「あの...その、僕...」
もじもじ...

「どうかしたの? ...あらっ?」

—翔くんのおちんちんが、
苦しそうに勃起していたんです。

あっ!



「あらあら…こんなにおちんちん大きくしちゃったのね」

「美波さんの裸きれいで…見てたらなんかおちんちんが熱くなってきて、その…」

体はまだ…なのに
ここはもう大人なのね

こんな風にしちゃった
責任とって翔くんのこと
鎖めてあげるね

「次は手でおちんちんを
シコシコしてあげるね」

ぎゅっ—

「うっ…み、美波さん…!!」
(美波さんの手柔らかい…)

シコシコ…

「んうっ…あっあっ…!!」

シコシコシコシコ…

「んっ、あっ、ああ…
なんかヘンになっちゃう…」

「ふふ…♡」

ちゅちゅ

んん♡

さわさわ…

「あっ…」

(ちよっと触れただけなのにすごく敏感…
それに翔くんの包茎チンポ熱くてすごく硬い…)

さわさわ…

「あっ、ああ…!!」

「手でシコシコされて気持ちいい?」

「うっ…あっ、あっ…」

(美波さんの手で擦られると
すごく気持ちいい…)

(翔くんの顔すごく感じてる…)

(後ろからシコシコしていると自分にチンポ
生えてるみたいでドキドキしちゃう♡)

「ふっ…んんっ…ああっ…」

「翔くん女の子みたいに声出しちゃってかわいい」

いっぱい射精できたね♡

シュツ、シュツ…

「あ…ああっ…美波さんっ…なんかキチャウ!」

「我慢しなくていいのよ」

「手止めて! お、おしっこ出ちゃうっ!」

「いいわよ! おしっこ出しちゃいなさい」

「うっ…あっ、あっ、ああああっ…」

どびゅっ! どびゅっ!

「あ…はあ…はあ…」

(翔くんのイキ顔かわいい…
相手に興奮してきちゃった…♡)

「ちゃんと射精できてえらいね」

「しゃせい…?」

「さっき出た白いおしっこを精液って言って精液を出すことを射精って呼ぶの」

(美波さんの体やわらかくて、なんかいい匂いがする…)

「翔くんのおちんちんが大人になった証で—」

(あ、またおちんちんが大きく…)

「っんっん」

またおちんちん大きくなっちゃったね

こ、ごめんなさい…

…次はセックスしよっか

セックス…?

とっても気持ちいいことよ♥

「…ねえ翔くん、もう一回射精したい?」

「は、はいっ…また射精したいですっ」

—そう言う翔くんは熱いチンポを強く下腹部に押し付けてきました。チンポで上から子宮を刺激されて、翔くんをセックスしたくなっちゃいました♥

完全にエッチなスイッチが入っちゃいました♥

「この穴がマンコで、ここに翔くんのおちんちんを入れるの」

「ここにおちんちん入れるの?」

「そうよ。手で射精するよりずっと気持ちがいいの」

もっと近くで見ているのよ

これが女の人のあそこ...
女の人ってこうなってるんだ

くぱあ

んんん

「あそこからなんか出てきたよ」
「このお汁は翔くんのおちんちんを早く入れて欲しいっていう合図なの」

(食い入るように見つめてかわいい...
それに翔くんのチンポさらに大きくなって♥)

...きゅん♥

くぱあ

ヌスッ

「もう欲しくて我慢できない♥
翔くんのおちんちんをマンコに入れるね」

「美波さん...あっ♥」

...ヌスッ

(翔くんの童貞チンポもちっちゃった♥)
「翔くんの好きなように動いてみて」

(おっぱい...おっぱい...)

タスタスタ...もみもみ...チュパツ、チュパツ

「んんっ」

(初セックスなのに胸をイジりながら腰振ってる...
この子セックスの才能あるかも♥)

「美波さん、美波さんっ」

...パンパン

(乱暴に腰を振るだけのセックスなのに興奮しちゃっ♥)
「んっ...あっ♥ あっ♥」

んんん
んんん
んんん

パンツ、パンツ…

「あっ…あっ…♥」

「んっ…んん♥」

「美波さんまたさちやう…精液さちやうよっ」

「我慢しないで精液出して」

パンツ、パンツ…

「ああっ…出るっ！ 精液出ちやうっ！」

「んっ♥ 思いつきりビュ…って出してえ♥」

うっ…

ドビュッ…どくっ…どくっ

「あっ…ああ…♥」

「熱い精液が膣にいっぱい入ってきてる…♥」

「はあ…はあ…」

「すごい…セックスして気持ちいいっ」

「童貞おちんちんに中出しされちゃった♥」

「もっとしたい…もっとセックスして射精したい…！」

「すごい…2回目出したのにまた大きくなってる…」

「美波さんっ、あの…っ」

翔くんが満足するまで
何度でも出していいよ♥

!!!

—このあと4回も中出しされちゃいました♥



— 競泳水着の撮影シーンの休憩中、赤面した翔くんが何度もこっちを見てくることに気づきました。それに股間が今日も大きく張ってることに…。それを見て昨日の翔くんのチンポを思い出して興奮してきちゃいました♥

「…翔くん撮影中に何度もこっちを見てたでしょ」

「こ、ごめんなさい。昨日のこと思い出して、その…」

「おちんちん大きくしちゃったんだ？」

「Yes!」

それじゃ今日も
鎮めてあげる♥

シュッシュッシュッ

「うっ、せつ出しちゃったわ…」

「我慢しないで出しているのよ♥」



昨日あれだけ出したのに
ザーメンすごく濃い♥

「うっ…出ちゃうー!」

ドビュッ、ドビュッ…

「はあ…はあ…」

(すごい。射精したのに硬いまま…)

「美波さん…その…」

「なあに翔くん」

「美波さんとセックスしたいっ」

「あふ、こっちはだらだらっしゅっ♥」



「美波さん挿れます…！」

ヌスツ—

(翔くんの包茎チンポ入ってきたあ♥)

ジュスツ、ジュスツ

「あっ♥」

「美波さんのマンコすごく柔らかい…」

ズチュ、ズチュ、ズチュ

「あっ…ん♥ あっあっ♥ んはあ♥」

「あっ…あっ…うう」

(もう出ちやいそう…)

パンツ、パンツ、パンツ

(すごっ…翔くん激しい♥)

すごい…セックスが
うまくなってる♥

「美波さんっ…精液出ちやいそう…！」

「いいよ、いっぱい出して♥」

「あっ、あっ…ああっ！」

どびゅっ…どびゅるるる」

「あんっ♥ 精液いっぱい出てる♥」

「はあ…はあ…」

「んっ…はあ…はあ…♥」

ピクン、ピクン…

包茎チンポで
すごく感じちゃってる♥

—それからどぶらもの…

—翔くんが勃起すると撮影の合間やホテルで…

おっぱい
気持ちいい？

スベスベで柔らかくて
気持ちいいです…

ピュッピュッて
たくさん出していいよ

—事務所の衣裳部屋にある衣裳を使って
コスプレセックスしたりしました。

んうっ

いっぱい出たね
次はマンコの中に
たくさん頂戴♡

美波さんの匂い
ハア…ハア…

—ドラマの撮影から戻ってくると、それからはレッスンの後に
アイドルのみんなに隠れて汗だくの状態でセックスしたり…
翔くんは汗の匂いに興奮してました

もう…
出そうです

いいよ♡
中に出して♡

—毎日のようにおちんちんをハズしているど
翔くんのセックスがすごく上達してきて、
軽くイクようになっちゃいました♡

最初は軽いお遊びみたいな感じだったのが
今では翔くんとおセックスが楽しみになってきました。
何度射精しても萎えないおちんちんは最高です♡

そしてだんだんと普通のセックスだけでなく、
ちよっとアスノーマルなことにも挑戦したくなって…

ハァハァハァ
ハァハァハァ

ドビュ
ドビュ
ドビュ

—ついにアナルセックスをお願いしちゃいました。
最初は翔くんも若干感っていました、
チンポを挿れるとすぐに激しく腰を振り始めました。
前から私のアナルを弄っていたから
翔くんがお尻に興味があったのはわかってたんです。
マンコじゃなくしてお尻に挿れられている状況に、
すごく興奮してすぐに感じ始めちゃいました♥

(お尻の穴…マンコよりも熱い…)

ヌスツ、ヌスツ—

「翔くんもっと突いてえ♥」

「はあ…はあ…」

「あっ、あっ♥ ああん…んうっ♥」



マンコが挿れてほしくて
ヒクヒクって疼いてる…

「ふっ、んう…はあ…」

ジュスツ、ジュスツ、ジュチュツ—

(翔くんの先走り汁ですごく卑猥な音してる…♥)

「はあ♥ すごくイイ…♥」

「あっ、あっ…で、出ますっ」

「翔くんのサーメジお腹の中に頂戴っ♥」

どびゅっ、どびゅびゅっ—

「はっ、はっ…ハア…♥」

(アナルセックス…キモチいい♥)

—そのとき、今までにないくらいマンコが
びしょびしょに濡れていることに気づきました。
マンコを撫でるとまるで電流が流れるように
快感が体を駆け抜けました。
アナルにハマられて早くマンコに挿れてほしくて、
すごく敏感になっでいたんです。

(早く…はやくチンポをマンコにハマてほしいっ♥)

—この状態でチンポを挿れられることを考えたら、
早く欲しくてたまらなくなってきました…



「早く翔くんのチンポほしいの。そのチンポで美波のマンコをジユボジユボ突いてくださいっ♡」

「早く挿れてほしくて、気付いたら年下の子におねだりしてました。」

くちゅぷぷぷ…

「んっ、はあ…っ」

くちゅっ、くちゅぷっ、くちゅにゅっ…

(愛液ですごく卑猥な水音になってる♡)

ずちゅっ、ずちゅっ、ずちゅっ…

(美波さんのマンコすこいっ…絡みついてきて搾り取られちゃいそう)

「あっ♡ あっ♡ これすこい♡ んっ、んうっ♡ はああ…ん♡」

(すこい…気持ちいいところを的確にチンポで突いてきてる…)

あっ♡

ああん♡

んはあ♡

もっと♡

んあ…突いてえ♡

突かれる度に
アナルも刺激されて
おかしくなりそう♡

(チンポでイカされちゃうっ♡)

「美波さん…僕、もう…っ」

「いいよっ♡ 一緒にイこっ♡」

どびゅっ、どびゅるるる…

「あっ、あああ…」

ドキ

「イクイクうっ♡ んうう♡ んあああ♡ はあああ…♡」
(こんなに感じちゃったの初めて…)

ドキ

チンポで盛大に
イカされちゃった♡

「もちろんこのあと翔くんにいっぱいチンポをハメてもらって、何度もいろんなところに射精されて、たくさんイッチちゃいました♡
最初は遊びのつもりだったのに、今では翔くんの包茎チンポの虜です♡」

R-18
成人向け
おねショタ本

ショタ喰い

にっ
たみ
なみ
のし
よた
ぐい

新田美波の